

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

1 日 時	平成30年8月3日（金） 14時00分～16時00分
2 場 所	教育委員会室
3 議 題	(1) 平成30年度における点検・評価の対象及び方法について (2) 各施策についての点検・評価 (3) 今後のスケジュールについて (4) その他
4 資 料	次第、さいたま市教育行政点検評価委員会設置要綱、座席表、出席者名簿、点検評価委員会審査日程、平成30年度教育委員会の点検・評価報告書（案）、平成29年度教育行政方針
5 出 席 者	細渕富夫委員長、朝日洋子委員、青羽章仁委員 （関係所管出席者）高木教育総務課長、中村学校施設課長、小椋学事課長、山本健康教育課長、千葉教育研究所長、柳田生涯学習振興課長、青木文化財保護課長、富田青少年宇宙科学館長、酒井博物館長、森山うらわ美術館副館長、大嶋生涯学習総合センター副館長、酒井中央図書館管理課長、幸島中央図書館資料サービス課長 （事務局）野津教育政策室長、竹内教育政策室長補佐、瀧山教育政策室主幹、西川教育政策室主査
6 欠 席 者	0人
7 議 事	<p>※会議を非公開とはしないことを決定した。傍聴者なし。</p> <p>議題（1）平成30年度における点検・評価の対象及び方法について 事務局から、平成30年度における点検・評価の対象及び方法について説明後、各委員へ意見を求めた。 ※意見なし 事務局の原案のとおり、評価の対象は「平成29年度教育行政方針」に記載された46事業とする。 評価の方法は、「平成30年度教育委員会の点検・評価報告書（案）」における教育委員会の自己点検・評価の記載に沿って各所管課から説明を行い、それに対して委員が意見を述べる、という方法で了承された。</p> <p>議題（2）各施策についての点検・評価 平成30年度教育委員会の点検・評価報告書「Ⅱ 教育委員の活動状況（平成29年度）」及び「Ⅲ 点検・評価の結果（平成29年度事業対象）」において、「社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が生かされる教育の推進」のうち「4 安全・安心で豊かな教育環境づくり」の7事業、「生涯を通じた学びの充実とその成果の活用」の10事業について、各所管課から説明を行い、各委員へ意見を求めた。</p>

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

【説明】

【Ⅱ 教育委員の活動状況（平成29年度）】（教育総務課）

【主な意見及び質疑】

なし

【説明】

【Ⅲ 点検・評価の結果（平成29年度事業対象）】

<社会を生き抜く力をはぐくみ、多様な個性が生かされる教育の推進>

4 安全・安心で豊かな教育環境づくり

(1) 主な事業の取組と成果・課題

⑲学校における安全教育の推進

⑳学校安全ネットワークの推進

㉑就学援助制度の充実

㉒通学路の安全対策の推進

㉓学校施設改修等事業の推進

㉔美園地区小・中学校の新設

㉕ネットトラブル等防止のためのメディアリテラシー教育の推進

<生涯を通じた学びの充実とその成果の活用>

㉖生涯学習施設整備事業等の推進

㉗生涯学習人材バンク事業の推進

㉘さいたま市民大学事業の充実

㉙親の学習事業の充実

㉚「さいたま子ども短歌賞」の推進

㉛子ども読書活動推進事業の充実

㉜図書館事業の充実

㉝博物館・美術館事業の充実

㉞歴史文化資源の保存・継承・活用事業の推進

㉟生涯学習施設と学校との連携事業の充実

【主な意見及び質疑】

⑲学校における安全教育の推進

（青羽委員）

・インターナショナルセーフスクールの取組の周知は、安全教育の推進に非常に有効だと思われる。「けがマップ」について、けがの発生が、学校の構造的な問題なのか、注意喚起で改善できるものなのか。構造的なものであるならば、対処が必要。加えて、当該校の保護者への周知が重要である。

⑳学校安全ネットワークの推進

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(青羽委員)

・ボランティアについて、地域によっては減っているところもあると聞いている。保護者と足並みをそろえての呼びかけをお願いしたい。

①就学援助制度の充実

(朝日委員)

・就学援助制度から少し話がそれるが、夏休みなど、長期休業期間に海外から一時帰国する児童生徒を対象に教科書や制服は何かできないものか。

(学事課)

・実際に学校に通うことは問題ないが、現状では一時帰国となると教科書を無償で差し上げることはできない状況である。

②通学路の安全対策の推進

(青羽委員)

・大阪での地震によるブロック塀の事故を受けて、さいたま市の対応は。

(学事課)

・通学路上の危険箇所を、学校で把握するようお願いをしているところ。危ない箇所については、子どもたちと情報を共有し、地震があったときには、その場所から離れる、頭を守るなどの指導をしているところ。

(朝日委員)

・近隣の自治会では、学校が自治会の防犯パトロールと協力して、通学路の安全確認を行った。学校と自治会との連携強化が必要。

(細淵委員長)

・現状で、学校施設としては、安全点検で課題のある学校はどのくらいの数が上がってきているのか。

(学校施設課)

・地震発生直後に傾き等がないか点検を行った。高さが2.2M超など現行の建築基準法に適合していないブロック塀の学校は40校。今後も詳細な調査をするとともに、40校については速やかに対応するべく準備を進めているところ。

③学校施設改修等事業の推進

(細淵委員長)

・学校のトイレについて、洋式化のほかに、LGBT等の観点から個室化する傾向もあるが、そのあたりの見通しについて伺いたい。

(学校施設課)

・そのような現状があることは把握しているが、現時点で個室化の改修は考えていない。「みんなのトイレ」を使用していただく方向で対応していただきたいと考えている。

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

(青羽委員)

- ・便器の洋式化の割合について、分母は学校数か、トイレの数か。

(学校施設課)

- ・分母は便器の数となっている。一つも洋式トイレがない学校はない。
- ・最近開校した学校は洋式率が100%になっている。

③④美園地区小・中学校の新設

なし

③⑤ネットトラブル等防止のためのメディアリテラシー教育の推進

(青羽委員)

- ・だんだんと小学生の携帯所持率が高くなっているように感じるが、講座を実施した13校の内訳は。

(教育研究所)

- ・小学校4校260名、中学校6校905名、公民館等3回64名の参加があった。28年度、小学校は2校95名だったが、29年度は増えている。小学校もメディアリテラシー教育の必要性が高まっていると感じる。

③⑥生涯学習施設整備事業等の推進

なし

③⑦生涯学習人材バンク事業の推進

(青羽委員)

- ・将来的な話だが、生涯学習人材バンク事業のノウハウを、部活動の外部指導者など同じ教育委員会内の事業に何かしら生かすことができればよいのではないか。地域の人材活用につながると思う。

(生涯学習振興課)

- ・事業の趣旨に違いがあり、難しいところもある。

(朝日委員)

- ・人材バンク登録者の平均年齢はどのくらいか。

(生涯学習振興課)

- ・確定した数字は出していない。印象としては50代の方が多いように思われる。内容によっては30代の方もいらっしゃる。

③⑧さいたま市民大学事業の充実

(細渕委員長)

- ・全体の人数が大幅に増加した背景はどのように分析されているのか。

(生涯学習総合センター)

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

- ・コースによって、講座の回数に増減があることも要因の一つと考えている。
(細渕委員長)
- ・講座の設定や、講座の回数については、参加される方のニーズを把握しているのか。
(生涯学習総合センター)
- ・講座最終回でアンケート調査を行っているが、その結果は、翌年にすぐ反映することが難しく、現状では翌々年に反映しているところである。

③⑨親の学習事業の充実

- (朝日委員)
- ・子育てを応援する、という視点で保健師さんとの連携はどのようになっているのか。
(生涯学習総合センター)
- ・基本的には希望する親が自ら申し出る形になっている。
(朝日委員)
- ・保健師さんから、参加していない親に働きかけるような動きはないか。
(生涯学習総合センター)
- ・チラシなどで周知しているところである。
(青羽委員)
- ・参加者の傾向を教えてください。
(生涯学習総合センター)
- ・乳幼児対象、未就学児対象、学齢時対象、とコース設定しているが、参加者のニーズは調べていない。
(青羽委員)
- ・PTAの独自の調査では、気軽に子育ての悩みを相談できる場所があるといい、という声がある。PTAとしても今後の課題と捉えている。今後、情報交換や連携ができるといい、と感じている。
(生涯学習総合センター)
- ・とてもありがたい御意見。親の学習事業に関心をもっていただけるように、今後も取り組んでいきたい。

④①「さいたま子ども短歌賞」の推進

- (朝日委員)
- ・子どもたちが楽しそうに短歌に取り組めるよう、PRが必要。チャレンジスクールなどで取り組む以外にも、普及の手立てが必要ではないか。
(生涯学習振興課)
- ・募集の期間が夏休みとなるため、短歌を作るのが夏休みの宿題となる場合が多い。
(朝日委員)
- ・宿題にする場合、学校はもう少し丁寧に宿題の内容や取り組み方を説明する必要があると感じる。

⑫子ども読書活動推進事業の充実

(青羽委員)

・不読率について、高校生の数値に改善した要因は何か。何か連携した取組はあるか。小・中学生はどうか。

(資料サービス課)

・高校生の結果改善については、図書館として分析できていないがうれしい結果である。それに対して、小・中学生の不読率上昇については、朝読書などの普及もあるので、要因が不明である。ただ、アンケートの設問が分かりにくかったことも考えられるので、改善したいと考えている。不読率の上昇はあるが、一方で、多くの本を読む児童生徒も増えており、2極化している状況である。

(朝日委員)

・読み聞かせの取組は学校で行っているのか。

(資料サービス課)

・行っている。

(朝日委員)

・夏休みなどに図書館で行っている読み聞かせなどの中高生のボランティア活動を、出前のような形で、学校に派遣してやってはどうか。

(資料サービス課)

・そこまでは現状は考えていない。

(朝日委員)

・公共図書館に親がついていないと行けない地域もあると思うので、学校の図書館に出前してはどうか。

(資料サービス課)

・今後、ボランティアをする中学生と、受け入れる小学校との橋渡しをするなどの取組も考えられると思うので、貴重な御意見として承りたい。

(細渕委員長)

・学校図書館の取組を支援する内容を教えてほしい。

(資料サービス課)

・学校図書館支援センターが北浦和図書館内にあるが、例えば学校図書館に寄せられた質問で、答えきれないものがあつた場合、公共図書館として調査をして答えたり、関連する図書を貸し出したりするなどしている。また、読書指導について、学校図書館司書のオリエンテーションの参考事例を紹介したり、個別に相談に乗ったりしている。また、不読率の対策として、今年度は、読書率が落ちる冬に公共図書館でキャンペーンを行ったり、その取組事例を学校に紹介したりすることを計画している。

(青羽委員)

・本を読まない理由などを年代別などで調査してもいいのではないか。

(資料サービス課)

・今後検討する。

平成30年度
第1回さいたま市教育行政点検評価委員会 会議録

⑬図書館事業の充実

なし

⑭博物館・美術館事業の充実

(青羽委員)

・博物館や美術館の工夫された事業を知ることは、とてもいいこと。PRはいろんな方々を巻き込む形でできるといいのではないか。

(朝日委員)

・地域に周知するために、できれば出前講座のような形を取り入れ、見に行こうとするきっかけ作りができるとういのではないか。

⑮歴史文化資源の保存・継承・活用事業の推進

なし

⑯生涯学習施設と学校との連携事業の充実

なし

議題(3) 今後のスケジュールについて

事務局から、本日から9月にかけて計4回の会議を開催し、9月定例会期間中に議会へ報告書を提出、その後、各区の情報公開コーナー、市の公式ホームページにて報告書を公開する旨説明をした。

【各委員】了承

<閉会> 16時00分閉会

【問合せ先】教育委員会事務局管理部教育政策室 829-1626